

# 講演 I

## 「デンソーでのCAE活用促進」

赤池 茂

株式会社 デンソー

技術開発センター デジタル・エンジニアリング室長

### 【講演概要】

デンソーでは、CAEの活用促進をはかるため、CAEを広める、高める、組み込むという考えからCAE活用促進をはかってきた。①広める：CAEを社内に広めるため、まずCAEを活用できる人材を増やすことに取り組んだ。人数的目標値を決め、この目標を達成のために、CAEサテライトという構えを各事業部と共同で構築し、CAE活用を浸透させた。②高める：自社で必要となるCAEを実行できるようにするためには、自社開発のCAEソフトウェア開発が理想である。しかし、デンソーは自動車部品メーカーであるため、市販のソフトウェアを導入し、カスタマイズ活用することを基本としている。そこで、基幹となるソフトウェアを決め、BP (Business Partner) と協働でそのソフトウェアの機能向上に取り組み、より高いCAEが実行できるようにしている。③組み込む：CAEが設計の真のツールとなるためには、創られたCAE技術が設計の業務の中に組み込まれていなくてはならない。そこで、全社として決定された製品開発ロードマップに基づき、その製品開発を下支えするCAE技術開発に取り組んでいる。これを実現するため、将来に向けたCAE技術開発の方向性を示すCAE技術開発ロードマップを創生した。このロードマップに基づき、将来に向けたCAE技術開発に取り組んでいる。今回の講演では、デンソー社内において取り組んできた、上記①、②、③の取り組みについて具体的事例をもとに説明する。